

院内 集会

守りたいのはいのちです

—医療人はいのちを奪う戦争法案に反対します—



I. 白衣を再び戦場の血で汚すな

戦前は多くの病院が軍病院として接收され、医療関係者は軍医や従軍看護婦として戦地に派遣され戦死した。内地でも「兵隊さん」優先、「お国のため」に医療が制限された。安保法案が成立すれば米国が展開する世界の「有事」や「存立危機事態」で有事法制が発動、米軍や自衛隊の戦争遂行のための医療に様変わりすることを危惧する。はたして医療・救急医療にどんな影響をおよぼすのか。

【ゲスト】



本田宏氏
(医療制度研究会
副理事長)



五十嵐真理子氏
(全日本赤十字労組/
中央副執行委員長)



太田啓子氏
(弁護士/明日の自由を守る若手
弁護士の会/憲法カフェ創設者)

II. 紛争地の現実と医療支援

安倍首相は、「平和」と「安全」のための力の外交、軍事的抑止力を確保することが国際平和の真実だと心酔している。紛争地の現実とは？殺し殺される紛争地で軍事力がいかに無力であり害悪であるか、過去の教訓に学ぼうとしない政治家にこそ感じて欲しい、知って欲しい。米軍による無法のイラク戦争で人道支援の道が閉ざされてしまったことを。

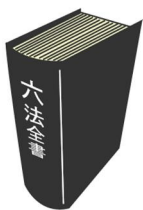


佐藤真紀氏
(日本イラク医療支
援ネットワーク/
事務局長)
イラクより映像出演



鷹巣直美氏
(憲法9条をノーベル
平和賞に実行委員会/
発案者)

III. 法曹界と医療界がスクラム



山岸良太日弁連元副会長
(憲法問題対策本部本部長代行)

○名称：7.9 安保法制に反対する医療福祉関係者のつどい

○日時：2015年7月9日(木)
12時-13時

○場所：衆議院第1議員会館 大会議室(B1F)

○主催：保団連、民医連、医労連、9条の会・医療者の会